

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ささえあいコミュニティ 生活協同組合新潟	代表者	高見 優	法人・ 事業所 の特徴	平成18年に開所して15年となりました。民家を改装したダイルールの大きな窓からは陽ざしがあふれ、家庭的な雰囲気の中で季節を感じる庭を見ながら一緒に食事をし、利用者様と共に生活し、さりげなく丁寧に支援をおこなうことを大切にしています。「居心地の良い場所」を目指し小規模多機能「ささえ愛あわやま」の特徴を活かした、支援のかたち、深い馴染みの関わりから「看取り」までご家族様と一緒に大切に行ってきました。住み慣れた地域でご自分らしく穏やかな日常生活を送っていただき、ご縁を大切にありのままの利用者様の望まれる生活を支援しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ささえ愛あわやま	管理者	伊藤 耕太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	0人	1人	1人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の安定、質の向上にはチームケアが欠かせないので職場環境を大切にします 事業所の目指しているものが何なのか場面ごとに発信していきます 「家族の会」を開き遠慮しないで自由に話せ、交流できる機会をつくります 	<ul style="list-style-type: none"> チームケアを実践するために職場環境を大事にしてきました 職員会議や、必要な場面で事業所が目指すものを職員間で確認、共有できる場面をつくってきました 「家族の会」はコロナの為開催できませんでした。 取組結果を運営推進会議に報告し一緒に考えて実践しました 	<ul style="list-style-type: none"> 今年も継続することがあるが、大切なことなので続けてください コロナ禍で事業所内のことはわからないことも多いが、運営推進会議で報告は受けています 取り組みの結果を運営推進会議に報告し意見をいただき反映しています 	<ul style="list-style-type: none"> 職員自己評価を来年度は良くできていると言える職員が増えるように、これからも誠実に日々のケアに取り組んでいきます 素早く変化の情報を申し送り簿に記載、記録の徹底を実践します コロナが終息したら「家族の会」として遠慮しないで自由に話せる機会をつくります
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ダイルールの大きな窓から季節を感じられ、家庭的な日常音、料理の匂いや利用者、職員の笑い声があふれる居心地の良い環境を継続します ダイルールのソファを増やしてゆったりとくつろげる居場所を増やします 玄関の施錠は防犯上必要だと機会があるたびに発信していくことを継続します 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の感染予防に必要な除菌、消毒、アクリル板など準備、整えました コロナ禍のなか、来所者には感染予防に十分に配慮しながら少しでも居心地の良い時間を提供する工夫をしました 飛沫防止マスクを装着し笑顔が減りました 歌を歌ったり大笑いすることも減りました ダイルールのソファを増やしてゆったりとくつろげる環境ができました 玄関の施錠は命を守るために必要と考え機会があるたびに発信してきました 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で感染予防に努めたこと、大変だったこと、報告を聞いていて良くわかります マスクをしていると表情もわからず、困ることが多かったですね 歌う機会も、笑う機会も減りました ダイルールの大きな窓から季節を感じる景色が見られ、あふれる陽ざしのもとゆったりと過ごせて理想的です 家庭的な日常音、料理の匂いは生活をしていくうえで心地良い居場所です 玄関の施錠は必要です 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のなか、感染予防に十分に配慮した環境を継続します コロナ禍で事業所の中に入っただけことが難しいため事業所での生活や環境が分かるようにショートムービーを製作していただく機会をつくります ダイルールの大きな窓から季節を感じられ、家庭的な日常音、料理の匂いや利用者、職員の笑い声が聞こえる居心地の良い環境を守り継続します 玄関の施錠は防犯上必要だと機会があるたびに発信していくことを継続します
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の方達とは普段から「一声がけ」の挨拶や会話をして、良い関係を継続します 栗山神社の「地域の茶の間」に利用者様が楽しめる内容の時に参加をします 事業所の行事に合わせて、地域の方が楽しみながら、足を運んでいただけるように「美術」の機会を充実させます 案内文や回覧版には作品を載せて参加を募り「機会」を充実させ深めます 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の方達と日常的に挨拶や関わりを深められるように心がけました コロナ禍の為「地域の茶の間」へ参加することや地域の方々をお呼びできるような行事を開催することはできませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみにしている行事ができなかったのは、経験のないコロナの恐怖のせいだね 挨拶はコミュニケーションの始まりです。ほとんどの職員は笑顔で挨拶してくれるが、新しい職員なのかかわからないが事業所の手伝いをしているそばで知らぬ顔で通り過ぎる職員もいるので、そういった教育はこれからも必要ですね 「家族の会」はとてもいい試みだと思っているので実現させてください 	<ul style="list-style-type: none"> コロナが終息したら家族同士の交流の場になるように「家族の会」を開催します 栗山神社の「地域の茶の間」に利用者様が楽しめる内容の時に参加をします 事業所の行事に合わせて、地域の方が楽しみながら、足を運んでいただけるように「美術」の機会を充実させます 案内文や回覧版には作品を載せて参加を募り「機会」を充実させ深めます

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出することの喜びと事故の危険の両面があるので十分な計画を立て実施することをこれからも継続します ・今までの暮らしを変わりなく地域で継続できるような支援を継続します ・これからも利用者以外のよろず相談や支援を継続します 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍なので外出の機会は大幅に減りました。十分な計画を立ててから実施し、安全面にも配慮したので外出時の事故は今年も無かった ・民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションを取りながら協力してもらい、今までの暮らしを継続できるような支援を行いました ・利用者以外の支援も行いました 	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの美容室や行き慣れたスーパーと一緒に出掛けているのはいいことです ・季節に合わせてお出かけしていたがコロナ禍で出かけられないのは残念でした。配慮と工夫を充分にしていけば、車から降りなければ少人数で行けるのではないのでしょうか～ ・利用者以外の方の支援をしたことは大事なことです 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息したら外出を楽しんでいた機会を多くつくりたい ・これからも民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションを多くとりながら地域で生活が継続できるように協力がいただけるような良い関係づくりを継続します ・これからも利用者以外のよろず相談や支援を継続します
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で提案された意見は誠実に向き合い活かしていきます ・季節を通した定期的な行事でも唯一の行事と捉え大切に機会を深めていきます ・「苦情」「ヒヤリハット」「事故」など積極的に向き合っているが繰り返し発生しているので、今年度は事案を掘り下げることを職員間で徹底し、積極的に1人1人のケアに向き合い改善策に取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議より出された提案や意見は尊重し誠実に向き合い活かしてきました ・季節を通した定期的な行事は「唯一」のものと捉えて関わり深めてきました ・リスク担当を中心にヒヤリハットや事故報告書の記録を積極的に残し、報告書にまとめ、会議で話し合うことで、再発防止を意識し、改善策に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で提案、提言された一言には意味のある重いものと受け止めてくれます ・季節の行事を大切に考えて実施していることが良くわかります ・ヒヤリハットや事故報告書は、再発防止のために事案を深めしっかりと検証を行ってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で提案された意見は誠実に向き合い活かしていきます ・季節を通した定期的な行事でも唯一の行事と捉え深めていきます ・「苦情」「ヒヤリハット」「事故」など積極的に向き合っているが繰り返し発生しているので、今年度も事案を掘り下げることを職員間で徹底し、積極的に1人1人のケアに向き合い改善策に取り組みます
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、防災に向けて危機管理を意識し手順、方法を職員間で確認、共有、訓練をして実践力を身につけていきます ・水害、津波を想定して利用者様に2階へ避難してもらうための訓練を実施します ・災害時の備蓄の食料の期限の確認や補充 ・近隣の方から応援をいただけるように普段から「一声がけ」を職員全員で取り組み良い関係づくりを継続します 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回通報訓練、初期消火、避難訓練と合わせて自然災害に向けた訓練を緊急時マニュアルに沿って訓練を実施しました ・災害時の食料、防災備品の確保、消費期限の確認を行いました ・近隣とは普段からこちらから挨拶や声かけをして良い関係づくりを心がけました ・津波や洪水を意識して2階に上がる訓練は、2階に勝手に上がってしまう危険性のある利用者様がいて、実践はできませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害も多く有り、利用者様の生命、身体を守る大切な項目なので、訓練を訓練のままにしないで熟度を上げる為にも繰り返しの訓練は必要です ・それをやっているからこそ緊急時に必ず活かされると考えます ・災害時には近隣の応援が大きな力になるので良い関係づくりが大事です 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、防災に向けて危機管理を意識し手順、方法を職員間で確認、共有、訓練をして実践力を身につけていきます ・災害時の備蓄の食料の期限の確認や補充 ・近隣の方から応援をいただけるように普段から「一声がけ」を職員全員で取り組み良い関係づくりを継続します

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	人	人	9人

前回の改善計画

- ・初期の段階で何度もミーティングを行い、本人の思いや家族の思いを「具体的」に発信することを継続します

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・サービス開始初期の頃には職員会議や申し送り簿での情報、職員同士の情報交換を頻繁におこない、サービス内容や本人の思いを「わかりやすく」「具体的」に伝わるように発信し確認しあって情報を共有しました
- ・送迎時のわずかな時間でも家族とコミュニケーションを多くとり日々の様子を報告して「家族の思い」をお聞きしたり、家族の不安を少しでも軽くできるように報告書を届け家族との関係づくりを深められるように配慮しました

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	4人			9人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	6人			9人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3人	6人			9人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	8人			9人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・サービス開始前に職員会議や申し送り簿で本人や家族の必要としている希望を職員間で「具体的」に確認、共有できる場面ができている
- ・サービス利用時の送迎時の時間を大切に、利用時の様子の報告と家族の心配事が改善できているのか確認できている
- ・初期の頃は、本人の不安を少しでも軽くできるように関わりを多くしたり気遣いや配慮、また仲介し支援をおこなっている
- ・新型コロナで帰省できない家族、会えない家族にはメールや電話などのツールを使い日々の様子の報告をして安心していただけるように配慮工夫ができている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・家族との関わりが送迎時や訪問時のわずかな時間では、挨拶や報告のみが多く細かな家族の不安をすべては受け止めきれしていない
- ・独居の方や、家族が同居していない方の情報は充分に知ることはできない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・初期の段階で何度も何度もミーティングを行い、本人の思いや家族の思いを「具体的」に発信することを継続します

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・会議やカンファレンスでは職員が活発な意見を出しやすい雰囲気づくりを継続します・ケアプランのなかの個別援助計画を深めて 本人の「～したい」に近づけるために 日々の生活のなかで具体的な「方法」を明確にして職員間で共有していきます・求められている情報に対して「求められている記録の仕方」「伝え方」は大事なことなので継続します・「家族の会」をとおして、関係づくり、情報収集の機会をつくります
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・職員会議やカンファレンスでは、職員1人1人が意見を出し合える機会ができており、自然に情報交換の場面ができています・簡易な「ツール」を作り、近々の情報の共有ができており「～したい」に活かしている・求められている情報に対して「求められている記録の仕方」「伝え方」は職員会議を通じて取り組んでおり、日々のケアと多職種の連携に活かしている・「家族の会」は新型コロナの影響もあり実現できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	8人			9人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	7人	1人		9人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	8人			9人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	9人			9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ケアプランで本人の希望や目標を知り、日々の関わりや支援を行うことができている。・ケアプランや個別援助計画書で 本人の「～したい」を目標に具体的な日々の関わりができている・職員会議のカンファレンスで、本人の直近の様子を報告、発言する機会があり、職員間で意見を出し合い支援内容のモニタリング・工夫ができている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ご自分から思いを伝えられない方の「～したい」気持ちの全部を知ることは難しい・新型コロナの影響のために行事や大好きな外出や日々の食器拭きまで、あらゆることが制限されてしまい「～したい」気持ちを分かっているにもかかわらず我慢をしてもらい、応えてあげられない日常が続いている・利用者の日々のなかで、小さな変化に気づかずに見逃してしまったことがある

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・会議やカンファレンスでは職員が活発な意見を出しやすい雰囲気づくりを継続します・新型コロナが収束したら「家族の会」をとおして関係づくりを深める機会をつくります

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の関わりのなかで細かな変化をすばやく記録し職員間で情報を共有できるようにしていきます ・変化していく日々のなかでその方の人間性、プライドを傷つけず、守っていきます ・本人のできることに、したいこと、好きなことがこれからも続けていけるように支援をしていきます
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の関わりのなかで細かな変化に気づいた時には経過記録や申し送り簿、簡易なツール、ボードに記載し職員間で共有しています ・本人との長い関わりの中から、その方の人間性や価値観、プライド、声にならない思いを代弁しています ・本人の希望される暮らし方を「かたち」にするために細かく具体的に計画し実践しています

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	6人	3人		9人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	3人			9人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0人	8人	1人		9人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	7人			9人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3人	5人	1人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人のできることに、できないこと、したいこと、好きなことを活かせるように日々の生活の場面に反映している ・1人1人に合わせた食事内容、入浴の仕方、排泄など基本的なことはしっかりとできている ・日々の関わりの中から声にならない思いに寄り添いプライドを傷つけないような支援ができています ・本人の気持ちや体調の変化に気づいた時には素早く看護師、主治医に相談し適切なケアができており申し送り簿やボードに記載して情報を共有している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」を充分には把握できていない ・日々の生活の中で、変化を見逃しているかもしれない ・変化の情報が口頭だけでその場にいた職員のみで共有し、申し送り簿に記載できていないことがあった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・変化していく日々のなかで、情報をすばやく申し送り簿やカンファレンスを通して共有し、その方の人間性、プライドを傷つけず、守っていくことを継続します ・本人のできることに、したいこと、好きなことがこれからも続けていけるように支援をしていきます 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	1人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">ご本人がこれからも住み慣れた地域のなかで支えてもらいながら暮らしていけるように、日々の関わりのなかで近隣の方と挨拶したり、近隣の方から協力がいただけるような良い関係づくりを継続します利用者様の担当民生委員さんの一覧表をつくります
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">利用者の住む近隣の方々にはこちらから笑顔で挨拶をして、その中で日々のお礼や簡単な情報交換ができており、本人を守る強い味方になっていただいている。コロナ禍のため地域の方々にお出でいただける行事の計画はできなかった。独居の利用者を担当してくれている民生委員さんの一覧表を作成しました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	8人			9人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0人	9人			9人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	5人	4人		9人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	7人	2人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">本人の生活スタイルや人間関係を理解し、今までの暮らしを知ることによって、関わりに活かし深めることができている家族とは送迎時での関わりや連絡帳、「ホッとあわやま」を使ってできている本人との関わりから今の暮らし方、家族や本人を知っている近隣の方との関わりの中から今までの暮らし方を知ることができている

できていない点
<ul style="list-style-type: none">事業所以外の自宅での24時間の過ごし方の全部を把握することはできない知らない部分があるなかで関係が切れない支援はできないコロナウイルス感染防止のために馴染みの場所へ出かけて行くことを控えている家族のいる利用者の民生委員は把握できていない地域の資源の全部を把握できていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">ご本人がこれからも住み慣れた地域のなかで支えてもらいながら暮らしていけるように、日々の関わりのなかで近隣の方と挨拶したり、近隣の方から協力がいただけるような良い関係づくりを継続します.

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	1人	人	9人

前回の改善計画	・小さな変化に気づくことは日々の関わりや記録から変化に気づくものなので、細かな記録をきちんと残し情報を共有し 今 必要な支援を 今 ミーティングをしながら即時的に柔軟に支援を行なっています
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の中で気づいた変化を、細かく記録に残し、情報を共有することで今必要な支援を柔軟に 今 支援を行なうことができている ・職員間で本人の小さな変化、本人の心配なこと、本人の今の気持ちが言語化され共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0人	9人			9人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	3人			9人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	3人	1人		9人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6人	2人	1人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・馴染みの友人、知人にはコロナ対策をしたうえでお会いできる機会をつくり支援ができた ・本人の体調の変化や家族の事情に応じて柔軟に支援ができている ・日々の関わりの中で「変化」に気づき細かなミーティングはいつでも行われ情報共有できている ・本人と関わっていくなかで本人に必要な援助が緊急時でも即時的に柔軟に実践できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍のためボランティアの受け入れができず、地域の資源を使うことができなかった ・業務に追われ利用者さんとゆっくりと関われる時間が減っている ・情報が全職員に共有できるまでに時間がかかることもある ・柔軟に対応しているが「泊り」の希望があっても人数が限られているなかで希望に添えないこともある ・	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・小さな変化に気づくことは日々の関わりや記録から変化に気づくものなので、細かな記録をきちんと残し情報を共有し 今 必要な支援を 今 ミーティングをしながら即時的に柔軟に支援を行なっていくことを継続します。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

6. 連携・協働

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	2人	9人

前回の改善計画
・事業所のイベントの広報誌や案内文を充実させ、できる範囲で行事と組み合わせて地域の方が楽しみながら足を運んでいただけるように交流の場を設けて機会を充実していきます

前回の改善計画に対する取組み結果
・コロナ禍の為に地域の方々に楽しんでいただくようなイベント(毎年行っていた夏祭りの屋台や事業所でのコンサート等)が開催できなかった
・イベントが開催できない分、ご家族様に事業所内での日々の様子が分かるよう広報誌を工夫しました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3人	2人	3人	1人	9人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	1人	6人	1人	9人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2人	2人	2人	3人	9人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	1人	1人	6人	9人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・かかりつけ医と訪問看護、福祉用具さんとは日常生活の報告や体調異変時の報告ができている
・地域の居宅や包括支援センターから相談や紹介をいただいている
・コロナ感染予防対策、生活の仕方、用具に関して、消毒液、マスク、アクリル板などの設置について公的機関に情報収集を念入りに行い、さまざまな感染予防に取り組むことができた

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍の為に、近隣の方々やご家族を招いての事業所のイベント、ボランティアの方をお呼びしてのイベントの実施はできなかった
・町内の夏祭りや地域の防災訓練などに参加し、地域の方との交流を深めていたが今年はコロナ禍のために中止となってできなかった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・今年はコロナウイルスや大雪に見舞われたが、近隣の方々と声を掛けあい協力があった。これからも良い関係が続けていけるように、運営推進委員の方々や地域の方の意見を取り入れ反映していきます

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日 (20:00~21:30)

7. 運営

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	1人	9人

前回の改善計画	・利用者様のご家族を行事にお誘いするだけでなく「家族の会」として困りごとや心配なことなどを遠慮しないで自由に話せ、情報収集と関係づくりを深める機会をつくります
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍で「家族の会」は開催することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3人	4人	2人		9人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6人	3人			9人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	5人			9人
⑤	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	6人	1人	1人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月職員会議で事業所のあり方について1人に任せるのではなく全員で意見を言うことができている ・コロナ禍のなかで事業所でやるべきコロナ対策やアクリル板設置など迅速に行なうことができている ・意見や苦情の対応は即日に事実確認をし、具体策や提案を申し送り簿や報告書に記載して職員間で共有できている ・定期的に運営推進会議の開催により事業所のあり方、ご家族からの声を聴いて、会議議事録を申し送り簿に添付し職員が内容を確認回覧できている ・運営推進会議で提案、提言されたものは地域からの声と受け止め、重く受け止め反映している ・	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍のなかで、地域の方や利用者様のご家族が事業所に足を運んでもらうことができず、協働した取り組みは行われなかった ・運営推進会議もコロナ禍のために「報告書」のみとなり、意見をいただく機会が少なかった ・運営推進会議の議事録を読まなかったことがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新型コロナが収束できたら「家族の会」を開催し、遠慮しないで自由に話せ、情報収集と関係づくりを深める機会をつくります	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画	「苦情」「ヒヤリハット」「事故報告書」など積極的に向き合っているが、繰り返し発生してしまうことが問題である。今年度は、職員間で徹底して事案を掘り下げて1人1人のケアに向き合い、改善策に取り組んでいきます
前回の改善計画に対する取組み結果	・リスク担当者を中心に 毎月行われる職員会議で「苦情」「ヒヤリハット」「事故報告書」の振り返りを全員でおこなった。事案によっては試行錯誤を実施するなかで改善できていることもあったので今年度も継続し次のケアに活かし、改善できるように努力をしていきます

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	6人	2人		9人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	2人	3人	3人	9人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	2人	5人	1人	9人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	5人	人		9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で報告を兼ねて実施、参加している ・コロナ禍のため ZOOM オンラインによってパソコンを通して研修を行った ・ヒヤリハットや事故報告書の記録を積極的に残し、報告書にまとめ、会議で話し合うことによって再発防止を意識し、リスクマネジメントに取り組んでいる ・繰り返し発生していた内容の事案が試行錯誤を実施するなかで回数が減っていき改善できた事案があった 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により職員の資格取得やスキルUPのための研修にはほとんど参加できなかった。 ・ヒヤリハットや事故報告書の記録を残し、再発防止を意識し日々のリスクマネジメントに取り組んでいるが繰り返し発生しゼロにはなっていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・「苦情」「ヒヤリハット」「事故報告書」など 積極的に向き合っているが繰り返し発生しているので今年度も事案を掘り下げて1人1人のケアに向き合い、改善策に取り組むことを継続します。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(20:00~21:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 古川、荒木、橋本、松原、武田、神田、斉藤、大野、畑山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	人	人	9人

前回の改善計画	・日常生活のケアのなかでプライバシーは守られているが トイレの「ノック」「声がけ」と同時に「開けてしまう」行為は「ゼロ」ではないので、この場面のプライバシーを徹底します
前回の改善計画に対する取組み結果	・トイレのドアの見やすい場所に「入ってます」(赤)、「空いてます」(青)とわかりやすく、扱いやすい手札ほどの木の札を設置してから、開けてしまう行為を減らすことができました

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8人	1人			9人
②	虐待は行われていない	8人	1人			9人
③	プライバシーが守られている	4人	5人			9人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7人	1人	1人		9人
⑥	適正な個人情報の管理ができている	7人	2人			9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基本的なことは誠実におこなわれ、プライバシーが守られ、身体拘束や、虐待はおこなわれていない ・居室への入室時のノック、声がけは必ず行っている。 ・「スピークロック」「フィジカルロック」「ドラッグロック」と 目につく場所に貼り注意を促している ・おむつ交換、入浴、トイレ介助ではプライバシーは守られている ・必要に応じて成年後見人制度を活用している ・ケアの記録はデイルームで行わないこと、個人情報外部に持ち出さないことが徹底されておりファイルは鍵のかかる書庫に管理されている ・防犯対策として防犯システムと監視カメラ3台を設置している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・プライバシーにおいてトイレの入室時の声がけしながら開けてしまうことはまだ「ゼロ」ではなかった ・トイレの札は活用できていないときがあった ・玄関の施錠は事件、事故を鑑みて「開錠」は防犯対策を重視したため行わなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日常生活のケアのなかでプライバシーは守られている。これからも誠実に守っていきけるように徹底していきます	

自己評価 地域をまよめ 100